野村いくよ 市政報告だより

No. 17

2015. 2.20

元旦街宣

子どもたちの未来に責任をもって…

長い冬もいよいよ終わりが近づいてきました。平素は、野村いくよの活動に深いご理解とご支援を頂いていることに心より感謝申し上げます。

昨年末の解散総選挙におきましては、平野博文衆議院議員を皆様のお力で、再度国政へと送り出すことができましたこと、心より感謝申し上げます。しかし与党が3分の2を占める結果となったこと、大阪では、維新の党への期待度がまだなお大きいという現実を厳粛に受け止めなければならないと思っています。

1月18日には、民主党岡田新代表が誕生しました。安倍自民党と対峙する野党第1党として、また政権を担える民主党の再生を望んでいます。それが信頼の回復にもつながると思います。私もできることからすすめていきます。

安倍政権は、総選挙の結果、すべてが信任されたかのように「戦争をする国」への道を急ごうとしています。暴力に対して暴力で報いることは、何も生み出すことはないでしょう。問題解決に必要なのは、政府として対話をすすめていく最大の努力を徹底的にすすめていくことではないでしょうか。武力では解決しないということを憲法9条を持つ日本から示すべきです。また、アベノミクス経済政策は、一握りの富裕層と大企業だけに恩恵があり、労働者保護ルールが改悪されてしまうと、不安定雇用がさらに増え、格差と貧困のさらなる拡大は必至です。私たちは、子どもたちの未来に責任があります。貧困の連鎖も断ち切らなければなりません。支え合い分かち合う社会、誰をも排除しない社会の実現のために、今こそ徹底したとりくみが必要となります。

4月、私は4期目に挑戦します。次代を担う子どもたちにどのような未来を残すことができるのか、枚方市の明日をどのようにつくっていくのかが問われています。枚方市は、誰もが健やかな「健康・医療」都市、心豊かな「教育・文化」都市を都市ブランドとして発信しています。私もそれを柱に枚方のまちづくりをすすめていかなければならないと思っています。私たちの生活に一番身近な自治体の役割とは何か、を問いながら、すべての人が安心して暮らせるまちづくりに尽力していきます。「子どもたちの笑顔があふれるまち」をキャッチフレーズにしています。子どもに優しいまちは、すべての人に優しいまちにつながります。多様性がそのまま受け入れられる、一人ひとりが大切にされる地域づくりを皆さんとともにすすめていきます。皆さんと共有した思いをカタチに!! 全力でとりくんでいきます。

今後ともご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

戦争と女性の人権博物館（ソウル市・８月７日）

日本女性会議札幌（10月17日）

民主 PRESS MINSHU

2015 春号

号 外

民主党プレス民主編集部
〒100−0014
東京都千代田区永田町1-11-1
電話 03-3595-9988（代表）
http://www.dpj.or.jp

● 発行者：枚方市議会議員（民主党）野村いくよ　自宅：〒573-0084　枚方市香里ヶ丘６丁目10－２－101　e-mail：194-nomura@mvf.biglobe.ne.jp

野村いくよの活動日誌（抜粋）

Facebookもやっています

野村いくよ公式ホームページ　URL：nomura-ikuyo.com/

10月

- 1（水）大阪広域水道企業団全員協議会
- 7（火）戦争をさせない1000人委員会・京都
- 8（水）全朝教大阪学習会
- 9（木）枚方市追悼式
- 15（水）人権文化セミナー映画会「ペコロスの母に会いに行く」
- 17（金）～18（土）日本女性会議2014札幌
- 22（水）民主党府連自治体議員団学習会
- 24（金）厚生委員協議会
- 25（土）民主党大阪府連第３回常任幹事会・選対本部会議
  蘇州大学報告会
- 26（日）SACHICO視察研修
- 28（火）枚方市人権推進擁護本部研修会
- 29（水）～30（木）憲法９条を誇りにする会　沖縄フィールドワーク
- 31（金）大阪広域水道企業団全員協議会

11月

- 2（日）城北ハッキョを支える会総会
  ワンコリアフェスティバル
- 5（水）～6（木）厚生常任委員会先進都市視察研修（和光市・新宿区）
- 6（木）北河内地区教組教育フォーラム
- 7（金）人権まちづくり協会　現地研修会
- 8（土）であい共生舎理事・評議員会
- 9（日）IMIAアジアシンポジウム
- 11（火）老人介護者の会　警察との懇談会
- 12（水）連合北河内　労働者保護ルール改悪阻止行動集会
- 13（木）連合北河内　労働者保護ルール改悪阻止タスキリレー行動
- 14（金）大阪広域水道企業団議会定例会
- 15（土）ガールズヘルププランプロジェクトin 大阪
- 16（日）とっておきのさをり展
- 18（火）民主党府連男女共同参画委員会
- 20（木）厚生委員協議会
- 21（金）大阪府市議会議長研修会
  解散告知街宣　枚方市駅　　議員団・顧問会議
- 22（土）民主党大阪府連第４回常任幹事会・選対本部会議
  第10回大阪朝鮮学校学生芸術祭
- 26（水）しおん会親睦研修会
- 27（木）連合河北地区協議会総会
- 28（金）枚方市病院事業運営審議会
- 29（土）連合大阪政策・政治フォーラム設立総会

12月

- 4（木）～18（木）第４回定例市議会
- 4（木）市議会全員協議会
- 6（土）連合大阪女性委員会総会
- 9（火）厚生常任委員会
- 18（木）枚方市議会議員懇親会
- 19（金）野村いくよを励ますつどい
- 20（土）府民のちから2015
  民主党大阪府連第５回常任幹事会
- 23（火）民主党大阪府連男女共同参画委員会（新人女性候補者との交流会）

1月

- 1（木）元旦街宣　枚方市駅
- 5（月）新年交歓会
  北大阪商工会議所　新年賀会
- 7（水）連合大阪2015新春のつどい
  保護司会新年互礼会
- 8（木）大阪教組2015新春のつどい
- 9（金）枚方市商業連盟新春年賀会
- 10（土）民主党代表選立会演説会
- 11（日）五常校区第25回とんど祭り
  「体罰をみんなで考えるネットワーク」設立総会
- 12（月）枚方市新春走ろう会
  枚方市成人祭「はたちのつどい」第四中学校
- 14（水）大阪市教組新春旗びらき
- 17（土）連合北河内政策・政治フォーラム・決起集会・役員OB総会
- 18（日）ふぇみん大阪新年会「憲法カフェ」
- 24（土）民主党大阪府連常任幹事会
- 30（金）城北ハッキョ上映会「60万回のトライ」

2月

- 1（日）子ども支援学研究会「いま求められる自治体の役割と公的第三者機関の働き」
  朗読劇「ガザ希望のメッセージ」
- 2（月）さつき会新年互礼会
- 3（火）大阪広域水道企業団議会全員協議会
- 6（金）枚方市人権推進擁護本部研修会
- 7（土）森みどり　新春のつどい
  民主党11区常任幹事会
- 8（日）雨宮処凛講演会―生きづらさを感じている若者たちへ―
- 13（金）大阪広域水道企業団議会定例会
  部落解放共闘女性連絡会議交流会
- 14（土）NPO法人ホースフレンズ　内閣総理大臣賞受賞を祝う会
- 17（火）枚方市病院事業運営審議会
- 18（水）人権まちづくり協会「沢知恵弾き語りコンサート」
- 20（金）厚生委員協議会
- 21（土）早春コンサート
- 22（日）山田池アインちゃんチャリティマラソン
- 27（金）大阪教組臨時大会

民主党女性議員ネットワーク会議（7月22日）

市立ひらかた病院開院記念式典（9月6日）

デモクラ塾街宣（９月27日）

東村高江（10月30日）

厚生常任委員会先進都市視察研修（11月5～6日）

神戸市立海外移住と文化の交流センター（11月7日）

励ますつどい（12月19日）

五常校区とんど祭り（１月11日）

議会報告

2014年 第３回 枚方市議会定例会（９月10日～10月22日）

６月議会に引き続き一般質問をおこないました。
質問項目は…

①　教職員の多忙化解消について

Q 本年６月に結果公表されたOECDの国際教員指導環境調査において「日本の教員の勤務時間は他の参加国よりも特に長く、人員の不足感も大きい」との報告があった。多忙化解消について、現在の対応策は？

A メンタルヘルス相談などの対応や、調査、統計事務等の見直し、学校事務の負担を軽減するため、学校事務職員の学校運営への参画や、2015年度からの校務支援システムの導入に向けた取り組みをすすめている。

要望 多忙化を解消して、子どもたち一人ひとりに向き合う時間を確保し、きめこまやかな指導体制をつくることが重要。財源を確保することが課題となっているが、2015年４月には、４年生まで、少人数学級編成の実施を！

②　「子どもの貧困の現状と対策について」

要望 2014年８月に困窮家庭の子どもが大人になって貧困から抜け出せない「貧困の連鎖」の解消をめざす「子どもの貧困対策大綱」が閣議決定された。今年４月に施行される「生活困窮者支援法」と一体となって、子どもの貧困対策の必要性がある。「子どもの最善の利益」の実現を基本原則とし、市全体で、横断的に確実な連携の下、切れ目のない支援を行う体制づくりを。

③　ひとり親支援について

要望 同じ母子家庭であっても、配偶者と死別したり離別した母親が受けられる税制上の優遇措置である寡婦控除は、未婚の母親に適用されない。ひとり親の就労に関する条件整備・支援という観点から、保育所保育料をはじめとする事業の算定に寡婦（夫）控除のみなし適用を行うこと。

A 「子どもの福祉とひとり親に対する就学前から就学後を通した継続的な就労支援を図る観点から、保育所保育料や留守家庭児童会室保育料などの算定における寡婦（寡夫）控除のみなし適用について、2015年度からの実施にむけすすめる。

2014年 第４回 枚方市議会定例会（12月４日～18日）

今任期での最後の一般質問の機会となりました。
正副議長以外の全議員32人が一般質問に立ちました。
質問項目は…

①　学力保障について

Q 「私は、学力向上のためには、授業を基本にこれまでのとりくみを着実にすすめ、一人ひとりの子どもたちの学力を保障していくことこそが最も重要なことであると確信している。」ことを述べた後、来年度４月から、35人の少人数学級編成を４年生まで拡大するが、第５・６学年についてはどうするのか。

A 学級規模を維持しつつ、学習面においては指導形態等について検討し、きめ細やかな指導による学力向上に努める。

要望 支援学級在籍児童も含めて40人を超える学級編成にならないこと

②　校務支援システムについて

校務支援システムの導入の目的「事務負担の軽減と情報セキュリティの向上」を確認。

要望 導入後も検証等を行い、導入目的が一層達成すること。

③　夜間中学生の支援について

要望 公立中学校夜間学級に通学する本市在住生徒に対して、就学援助を現在６年まで支給しているのを、在籍可能な９年まで拡大すること

④　11月の児童虐待防止推進月間及び女性の暴力をなくす運動期間の枚方市のとりくみについて

Q 今年度の女性に対する暴力をなくす運動期間では、デートDVがクローズアップされていたが、本市での若年層に向けてのとりくみは。

A 子どもたちに自分と相手のこころとからだを尊重し、暴力によらない解決方法を身につけるために、DV予防教育プログラムを小学４年生対象に実施、重ねて実施校での教職員研修も行った。

要望 学校教育でのDV等の予防教育を継続的におこなうこと。
また、児童虐待については、気軽に声を掛け合える関係を地域で築いていける、多様な家族を認め合い支え合うことができる環境づくりをおこなうこと。

⑤　枚方市立美術館について

美術館駐車場の安全対策の確認と、子どもの教育に関する事業についての確認。

要望 埋蔵文化財などの展示も行い、枚方の歴史を学ぶことができる企画を。

2015年４月から実施されます!!

- 小学４年生まで35人以下学級の拡大
- 保育所保育料・留守家庭児童会室保育料の算定に寡婦(夫)控除のみなし適用
- 枚方市「医療通訳士」登録派遣制度の運用

枚方市「医療通訳士」登録派遣制度とは…
2014年１～３月に医療通訳士養成講座を全10回開催。定員18人のところに108人の応募がありました。結果、英語・中国語・スペイン語・手話の４言語を19人が受講し、養成講座を修了しました。
市と協定を結んだ医療機関を受診する外国人患者の依頼に応じ、「医療通訳士」を派遣する。手話については、従来通り障害福祉部が対応。育成から派遣までを専門のNPOに一括して委託。
養成講座では、手話も含まれていたことが他にないとりくみだと聞いていました。登録派遣制度で分割されたのが残念ですが、まずは運用されること、だと思っています。その後課題を整理しながら、外国人や聴覚障害者が安心して医療を受けられると同時に、医療機関が医療をしやすくするためにより良いものにしていきたいですね。

の 野をこえ山こえ12年
む 無理難題にも立ち向かい
ら ラストの追い込み　今でしょ！
い いつでもともに支え合い
く 工夫かさねてがんばろう
よ 世直しいくよ　みんなでいくよ

With チューチュートレイン

「野村いくよを励ますつどい」にご参加ありがとうございました!!
12月19日（金）　忙しい時期ではありましたが、多くの方に参加していただき、私自身たくさんのパワーをいただくことができました。３期12年間の歩みを確実なものにするためにも、引き続き頑張っていきます！

野村いくよの活動日誌ブログより

ガールズ・ヘルププラン プロジェクト in 大阪

11月15日(土)　午後は、HRCビルへ
NPO法人BONDプロジェクト主催、子ども情報研究センター共催の標記のプログラムに参加しました。

特定非営利活動法人BONDプロジェクトの現状報告「漂流少女の真実（リアル)」と題して
DVDによる活動紹介…東京渋谷を中心に少女たちの支援活動の様子を知りました。
困難な状況にあるにもかかわらず、支援が届かない、支援からこぼれてしまう少女たちが、多くいる現実。
実際の活動は、渋谷中心にパトロール・アンケート調査・電話相談・メール相談〈24h〉・面談・一時保護です。
発信もし、専門機関へと繋げていくことも…
今回、厚生労働省の平成26年度自殺防止対策事業先駆事業を活用し、全国６都市を目標に自殺念慮が高い若年世代女性の現状と支援方法についての講座を開催されている一つの都市として、大阪に来られて、面談を行い、16日のプログラムとなったそうです。

ワーク「若年世代女性の支援連携を考える」ということで、大阪の少女から受けた相談を事例報告をされ、参加したメンバーが、自分が所属している場ではどんな支援ができるか、などを出し合いました。
私は、何も提供できることはないのですが、「生きづらさを抱えている女の子たち」の現実を知り、そしてさまざまな「生きづらさを抱えている人たち」の支援活動をしている団体が多くあることを知ることができたので、大きな収穫となりました。子ども情報研究センターのつながりの広さにもさすが、と思いました。
就学前や、学校現場での子どもたちの状況、子ども・若者育成支援推進法に関わっての状況は、結局は、親や大人が行政などにつながってくることができるのですが、その関係から逃げてきた子どもたちには、どこに助けを求めたらよいのか、がわからないわけです。
どのように支援を繋げていくか、支援に届けていくのか、課題は大きいですね。

女性というキーワードで、私がとりくまなければならない課題を確認できました。

その他に第４回定例会一般会計補正予算で計上されていたこと

● AEDコンビニ設置事業
突然の心停止からの救命率向上について、AEDの有効性が実証されています。市内公共施設を中心に設置を進めてきましたが、夜間及び休日等においては、AEDを設置している施設が閉館しているため、24時間営業の市内コンビニエンスストアに協力を得て、常時AEDが使用できる環境が整備されます。
設置協定の締結（予定）　５社（ファミリーマート・ローソン・サークルKサンクス・ミニストップ・セブンイレブン）　106店舗

● 留守家庭児童会室の整備・建替え等
「子ども・子育て支援新制度」の創設に伴い、留守家庭児童会室の対象学年が拡大されます。2017年度から５年生まで、2018年度から６年生まで。必要な施設整備を順次行うことになりました。